

地球温暖化は待ったなしの問題 日本の平均気温も上昇中！

昔と比べて気温が上昇しており、さらなる気温上昇が予測されています。

図1 日本の年平均気温の偏差の経年変化（1989～2020年）
出典：気象庁ウェブサイト「日本の年平均気温」を基に作成

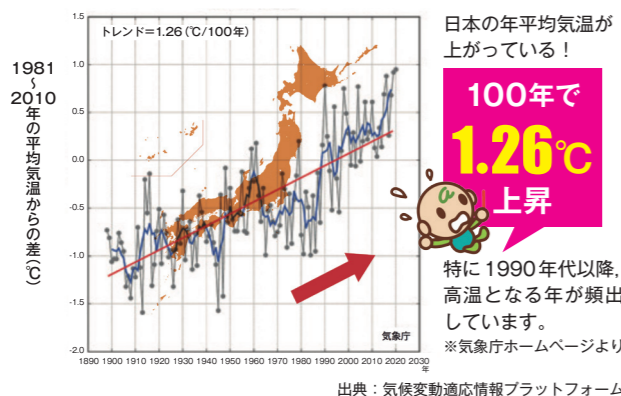
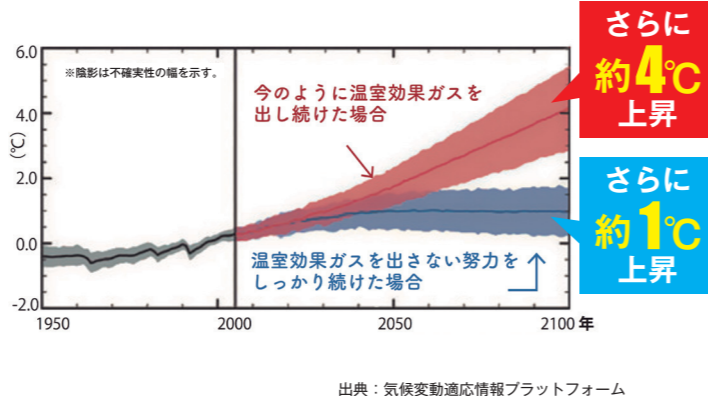


図2 今(1986～2005年平均気温)に対する世界平均地上気温の変化予測
出典：IPCC, 2013: IPCC 第5次評価報告書 第1作業部会報告書のグラフを基に作成



地球温暖化の影響で、地球が泣いています

絶滅する生物の増加

台風の巨大化やゲリラ豪雨の頻発

感染症の流行

猛暑日の日数増加

砂漠の拡大

海面上昇

世界の取り決め パリ協定

世界各国が平均気温の上昇を2°C以下に抑え、さらに1.5°Cに抑える努力をし、温暖化対策を進めていくという取り決めをパリ協定といいます。

2015年に行われたCOP21という国際会議で決定された取り決めがパリ協定です。

パリ協定に盛り込まれた要素は…

- 世界共通の長期目標として平均気温の上昇を2°C以下に抑えるという目標を設定し、さらに1.5°Cに抑える努力をする。
 - 主要排出国を含む全ての国が削減目標を5年ごとに提出し更新する。
 - 適応についても長期目標を設定する。
- 出典：環境省「パリ協定に関する基礎資料」[COP21の成果と今後]
(https://www.env.go.jp/earth/ondanka/cop21_paris/paris_conv-c.pdf)
- 出典：気候変動適応情報プラットフォーム

笑顔の地球になるために

日本だけでなく、世界各地で気温の上昇が起こり、異常気象や自然災害の発生など気候変動による影響が現れています。気候変動の影響は、私たちの食べ物や健康、命にも影響する問題なのです。未来の地球のために、私たちにできることを少しずつ実践してみましょう。



SDGs について学ぼう

17の目標

SDGsとは

2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すためのものです。「飢餓をゼロに」「海の豊かさを守ろう」「住み続けられるまちづくりを」など17のゴールと169のターゲットから構成されています。

わたしたちに見えること

TRY1



おうちで省エネ

電気や水道の
むだづかいをなくそう!



地球温暖化とは、二酸化炭素などの「温室効果ガス」が大気中に放出され、地球全体の平均気温が急激に上がり始めている現象のことをいいます。温室効果ガスが増えた原因として、乗り物を動かしたり、電気を使いすぎたりといった、私たちの行動が大きく関係しています。地球温暖化は、今後10年の取組が大きな分かれ目といわれています。温室効果ガスを減らすため、普段の生活から省エネを心がけましょう。



TRY2



身近な自然に触れてみよう

川や樹林地に
出かけよう



水辺や緑は、生物多様性保全・人と自然のふれあい・良好な景観・防災などのたくさんの機能を持っており、都市に暮らす住民が心地よく潤いのある生活を送るために欠かせません。また、水と緑を保全することは、海の豊かさを守ることもつながっています。



まとまった緑と水が残る深大寺・佐須地域



調布市内を流れる多摩川

TRY3



3Rに取り組もう

マイボトル、
マイバックを使おう



3Rとは、Reduce（できるだけごみの量を少なくする）、Reuse（一度使ったものをごみにしないで何度も使う）、Recycle（使い終わったものをもう一度資源に戻して製品を作る）の3つのRの総称です。使い捨て商品はできる限り避け、繰り返し使えるものを大切に使いましょう。



TRY4



食品ロスを減らそう

食べきれぬ分だけ買って、
食べ残しを減らそう



食べられるのに捨てられている食べ物を食品ロスと言います。日本では、年間600万トンの食品ロスが生じており、国民1人あたりお茶碗1杯分（約130グラム）が毎日捨てられている計算になります。



寄付で集まった食品

TRY5



清掃活動に参加してみよう

ポイ捨てはやめて、
ごみは正しく
分別して捨てよう



清掃活動は、海に流れ込むプラスチックごみを減らすことにもつながります。調布市では、駅前や多摩川、野川などでクリーン作戦を開催しているほか、様々な団体が清掃活動に取り組んでいます。



2019年台風19号後の多摩川調布泊江付近の様子



市内で行っているごみ拾いの様子

TRY6



授業やイベントをとおして 環境について学ぼう

身近な環境の
ことから
学んでみよう



環境問題は、身近なことから地球規模のことまで幅広い範囲に広がっています。環境問題を解決するためには、一人ひとりが環境のことを考えて、身近にできることから行動することが大切です。



多摩川でのイベントの様子



職場体験の様子

消費期限と賞味期限の違いとは？

- 消費期限
期限を過ぎたら食べないほうがよい期限
※お弁当やケーキなど傷みやすい食品に表示
- 賞味期限
おいしく食べることができる期限
※スナック菓子やペットボトル飲料などに表示



賞味期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。見た目やにおいなどで個別に食べられるか判断することも大切です。

余っている食品はフードドライブへ

家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉施設などに寄付する「フードドライブ」というボランティア活動があります。市でも年3回ほど開催しています。みなさんのご家庭にもいただき物や買いすぎた物などが眠っていませんか？

- 受け付けている食品
未開封で賞味期限が1カ月以上あるもの
包装や外装が破損していないもの、缶詰（肉・魚・野菜・果物など）
インスタント食品（カップめんなど）など



フードドライブの受付

再生可能エネルギーについて調べてみよう

「再生可能エネルギー」とは太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった、自然由来で二酸化炭素(CO2)を排出せずに活用できるエネルギーのことです。調布市では、再生可能エネルギーの普及・促進のため、公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業を行っています。



多摩川自然情報館屋上設置の太陽光パネル